

Trio Stammisch 2

Profile



篠崎 隆 (オーボエ) [賛助出演]

Takashi Shinozaki

東京藝術大学大学院修了。文化庁在外研修員としてベルリンおよびチューリッヒに留学。この間ベルリン及びスイスビール歌劇場を中心に各地においてオーケストラ、室内楽等数多くの演奏活動を行う。オーボエ・イングリッシュホルンをH.シェンベルガー、P.フックスの各氏に、室内楽をF.リーム女史に師事。オーケストラの活動の傍ら室内楽やスタジオ録音等幅広く活動しており特にイングリッシュホルンに関する楽曲の発掘、発表に力を注いでいる。
(公財)東京交響楽団オーボエ・イングリッシュホルン奏者。洗足学園音楽大学、大学院講師。



松尾 賢一郎 (クラリネット)

Kenichiro Matsuo

桐朋学園大学卒業後、ウィーン国立音楽大学に学ぶ。第9回ヤマハ新人演奏会出演。クラリネットを松本久雄、北爪利世、アルフレート・プリンツ、エルンスト・オッテンザマーの各氏に、室内楽を末吉保雄、カール・ライスター、フォルカー・アルトマンの各氏に師事。また、アロイス・ブラントホルファー、ハンス・ダインツァー、カール・ライスターの各氏のマスタークラスを受講した。在学中、ウィーン・コンツェルトハウスをはじめ、リンツ、ザルツブルグ等で演奏会に出演。1996年第1ディプロム取得。
1997年に帰国後、ソロ、室内楽、オーケストラを中心に活躍。
東邦音楽大学、短期大学、大学院講師。



大和田 浩明 (ホルン) [賛助出演]

Hiroaki Owada

武蔵野音大卒業後、1982年よりドイツ、フランクフルト音楽大学に留学。1985年同大を卒業。その間、フランクフルト放送管弦楽団、WDR(ケルン放送)の古楽器アンサンブル Capella Coloniensis 等に出演。1984年よりドイツ、南東バイエルン市立歌劇場オーケストラに入団。1986年より東京交響楽団に移籍。これまでに、黒澤勝義、田中正大、G. Neudecker、E. Terwilliger 教授に師事。



五島 研一 (ファゴット)

Kenichi Goshima

武蔵野音楽大学を卒業後、ベルリン・オーケストラ・アカデミー(カラヤン財団)にて奨学生として学ぶ。在学中、実習として約30回ベルリン・フィルの演奏会に出演。84年より86年までホーフ市交響楽団(旧西ドイツ)に首席ファゴット奏者として在籍。
帰国後、92年まで新日本フィルハーモニー交響楽団ファゴット奏者を務める。
91年にはモーツァルトのファゴット協奏曲(抜粋)を協演。ファゴットを山畑馨、マンフレート・ブラウン、室内楽をホルスト・ゲーベルの各氏に師事。
これまでに、1番奏者のエキストラとして東京フィル、神奈川フィル、群馬交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等の演奏会に参加。現在、オーケストラ演奏を含め、室内楽、録音を中心に活動。



大島 史子 (ピアノ)

Fumiko Oshima

桐朋学園大学卒業。その後、ウィーン国立音楽大学に学び、修士課程を修了しマギスター学位を得る。第9回ベートーヴェン国際コンクールにてディプロム賞を受賞。ピアノを野原百合子、黒岩直子、林秀光、ノエル・フローレスの各氏に、チェンバロを岡田龍之介氏に師事。
また、黒岩英臣氏、高橋康人氏の指導も受ける。マイスターミュージックより発売されている、元N響首席クラリネット奏者磯部周平氏のCD「エレジー」他で伴奏を務め、また日本木管コンクールの公式伴奏を務めるなど、現在、室内楽、伴奏、ソロ等で活動している。

Photo

Group photo : Katsuto Sakane
Landscape photo : Kenichiro Matsuo
"The empty summer boulevard"

